

## 2004 年度共同研究について

森 島 寛

2003-04 年度共同研究代表者

追手門学院大学オーストラリア研究所は、豪・ニュージーランドの大学・研究者との共同研究の6度目として、ニューサウスウェールズ大学の Braham Dabscheck とキャンベラ大学の Anne Daly という2名の研究者を交え「スポーツ・観光・レジャーの日豪比較」を行った。

2004年は、8月11日にシドニーのニューサウスウェールズ大学でセミナーを行い、上記の他に日本側として下野（名古屋市立大学）教授、川口（同志社大学）教授そして本学の遠山教授、山中教授（常務理事）、そしてわたくし森島の総勢7名で主に「日本とオーストラリアのプロスポーツにおける賃金・労働条件比較、日本からみたオーストラリア観光の位置づけ」について、終日、討論を行った。11月23日には2年間を締めくくるものとして、宇田教授が加わり、8名の研究者が次頁から始まる論文の基になる報告を行った。

今回の共同研究は、学際的なものを目指し21世紀の日本にとって有意義となるように心掛けた。「レジャー」の分野については、積み残しが生じたが「スポーツ・観光」のテーマについては、サッカー・野球・ラグビーと十分に日豪比較が行われ、また日本からみたオーストラリアの観光の新たな視点も掘り下げられた。これまで、個人レベルではそれぞれの研究テーマを散見するが、共同研究として先駆的取り組みが実現され、両国の21世紀社会に向けてそれぞれアピールができたものとして判断してよいのではなかろうか。なお、日・豪では季節が逆転することもあり、現地調査にズレが生じ文章化に1～2の論文に遅れが出たため、それらについては2005年の紀要に掲載することとした。

最後に、財政事情が逼迫する今日の日本、大学、にあって学術振興のために毎年予算措置を認めて頂いている大学当局に感謝するものである。